B-MANU201357-01

RHDM-Uシリーズ

セットアップガイド (Windows 版)

Windows環境でご使用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

フォーマット済みのため、そのまま使用できます

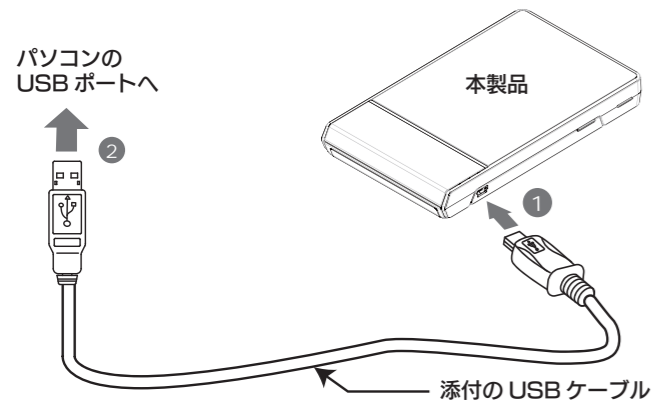
本製品はフォーマット済み(1パーティション、NTFSファイルシステム)のため、Windows環境ではフォーマットする必要はなく、そのままでお使いいただけます。

Step1 接続しよう

① パソコンの電源スイッチをONにします

まだ本製品を接続しないでください。

② パソコンに接続します

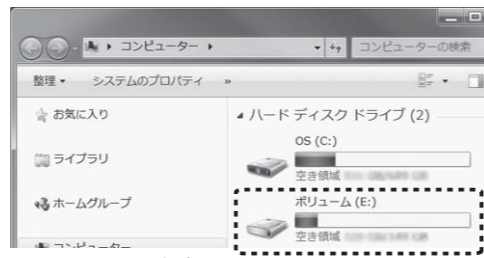
! コネクターの向きに注意 !

USBコネクターは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USBケーブルやパソコンのUSBポートが破損する恐れがあります。

弊社製USB3-EXCシリーズやUSBハブに接続する場合

弊社製USB3-EXCやCBUS2シリーズ、および電源コンセントに接続していないUSBハブ(モニターやキーボードにあるUSBポートを含む)に接続する場合は、別売りのACアダプター(USB-ACADP3)が必要となります。本製品にACアダプターを接続する時は、本製品をパソコンに接続していない状態で行ってください。

Step2 確認しよう

コンピュータ(マイコンピュータ)でアイコンの追加を確認

以下のハードディスクのアイコンが増えていれば本製品を使用できます。

▲Windows 7 の場合

▲Windows Vista の場合

▲Windows XP の場合

ドライブ文字は環境により異なります

ドライブ文字(ドライブアイコン横のアルファベット表示)は、お使いのパソコン環境により異なります。

以上で本製品にデータを書き込むことが可能です。

データのコピー方法について詳しくは本紙裏面をご覧ください。

Step3 取り外し手順を覚えよう

※ ここではパソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

① タスクトレイのリムーバブルツールをクリック

(画面例:Windows 7)

リムーバブルツールはOSにより異なります

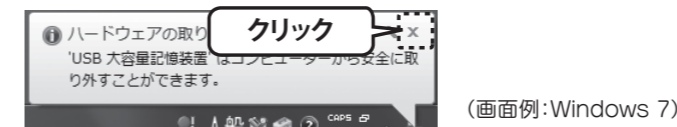
- Windows Vista :
- Windows XP :

② 本製品の表示をクリック

ドライブ文字は環境により異なります

ドライブ文字(ドライブアイコン横のアルファベット表示)は、お使いのパソコン環境により異なります。

③ メッセージを確認します

(画面例:Windows 7)

表示はOSにより異なります

- Windows Vistaの場合 : [OK]ボタンをクリックします。
- Windows XPの場合 : [×]をクリックします。

④ 取り外します

! ケーブルはコネクターを持って抜きます !

ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクターを持って抜いてください。

こんなときには？

? 本製品のアイコンがない

以下の点をご確認ください。

- USBケーブルの接続を確認
- 接続するUSBポートを変えてみてください。ハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに直接、接続しなおしてください。
- [コンピュータ]([マイコンピュータ])の[表示]→[最新の情報に更新]をクリックしてください。

? 異常音が聞こえる

USBポートの供給する電源が足りない可能性があります。
別売りのACアダプター(USB-ACADP3)をお使いください。

? ユーザーアカウント制御の画面が表示された

[続行]ボタンをクリックしてください。

? 「取り外しできません」のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアを全て終了してから、取り外しを行って下さい。それでも同じメッセージが表示された場合は、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

? フォーマットしたい場合

本紙裏面をご覧ください。

使用上のご注意

- ●スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどのパソコンの省電力機能はご利用いただけない場合があります。
- ●ご使用のパソコンにより、本製品の電源連動機能に対応できない場合があります。
- ●本製品にソフトウェアをインストールしないでください。OS起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア(ワープロソフト、ゲームソフトなど)が正常に利用できない場合があります。
- ●本製品接続時、他のUSB機器を使う場合に注意してください。
  - ・本製品の転送速度が遅くなることがあります。
  - ・本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、パソコンのUSBポートに直接、接続してください。
- ●WindowsとMac OSでは、フォーマット形式の違いにより併用することはできません。

データをコピーしてみよう

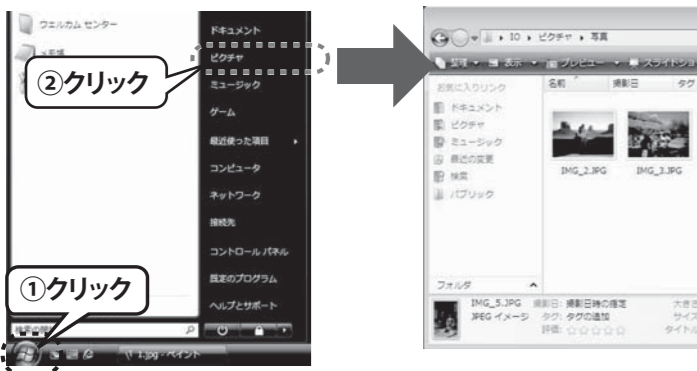
初級者向け

> **注意** 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
> 故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

（画面例：Windows Vista）

①データの保存場所を開きます

例1 写真データがピクチャ（またはMyPictures）に保存されている場合

例2 コピーしたいデータがドキュメント（またはマイドキュメント）に保存されている場合

Windows XPの場合

スタートボタン→マイピクチャの順にクリックし、開きます。

写真データの保存場所が不明な場合

カメラに添付のソフトウェアを使用して写真データをパソコンに保存されている場合、各ソフトウェアにより保存場所が異なることがあります。
各ソフトメーカー様に写真データの保管場所についてご確認ください。

データの保存場所が不明な場合

ご使用のソフトメーカー様にファイルの保管場所等についてご確認ください。

②データをコピーします

コピーしたいデータを選択して、右クリックし、メニューから［コピー］をクリックします。

複数のデータを選択したい場合

［Ctrl］キーを押しながら選択するデータを順にクリックします。

③本製品を開きます

コンピュータ（またはマイコンピュータ）から本製品を選択し、開きます。

本製品のアイコンが不明な場合

本紙表面【Step2 確認しよう】をご覧下さい。

④データを貼り付けます

開いたウィンドウ内で右クリックし、［貼り付け］をクリックします。

ドラッグ&ドロップでコピーする場合

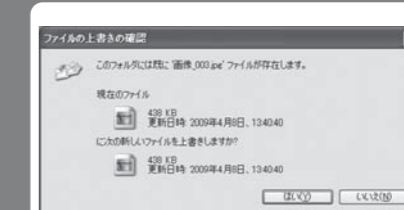
ピクチャ等のコピーしたいデータが保存されているフォルダ（本製品以外のドライブ）と、本製品のウィンドウを両方開き、画面上で並べます。コピーしたいデータをドラッグ&ドロップします。
※本製品内のフォルダから本製品内のフォルダへデータをコピーする場合は、ドラッグ&ドロップでコピーしないでください。その場合、左記の手順に従ってデータをコピーし、貼り付けてください。

コピー先フォルダに同じ名前のファイルがある場合（上書きコピーする場合）

コピー先フォルダに同じ名前のファイルがある場合、ウィンドウが表示され、動作を選択します。

Windows 7、Vistaの場合

移動して置換	⇒上書きコピーします。
移動しない	⇒データはコピーされません。
移動するが両方のファイルを保持する	⇒自動でファイル名を変更し、データをコピーします。

Windows XPの場合

はい	⇒上書きコピーします。
いいえ	⇒データはコピーされません。

サポートソフトウェアについて

中・上級者向け

サポートソフトの使用方法 Windows のみ対応

必要に応じて下記の手順でサポートソフトをダウンロードして使用してください。

サポートソフトを以下のサポートライブラリよりダウンロードします。
http://www.iodata.jp/lib/
ダウンロードしたファイルを解凍し、インストールすると使用できます。

ソフトウェア名	特 徴
I-O DATA ハードディスクフォーマッタ	出荷時状態のFAT32形式やNTFS、exFAT等の別の形式でもフォーマットできるソフトウェアです。 ※管理者権限でログオンしてご利用ください。 ※以下の【I-O DATAハードディスクフォーマッタの使い方】をご覧ください。
完全データ消去ソフト「DiskRefresher Deluxe LE」	本製品のデータを完全に消去するソフトウェアです。 ●本ソフトは、製品版DiskRefresherの機能限定版です。 ※管理者権限でログオンしてご利用ください。 ※32bit版OSのみ対応となります。 ※使用方法は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

I-O DATAハードディスクフォーマッタの使い方

> **注意**
> ・フォーマットするとデータは消去されます。
> 本製品に必要なデータがある場合は、先に、別のハードディスクやMOメディアなどにデータをバックアップしてからフォーマットしてください。
> ・フォーマットしないハードディスクはできるだけパソコンから取り外してください。
> 誤って本製品以外のハードディスクをフォーマットしたりしないよう、できるだけ本製品以外のハードディスクは取り外してください。

①解凍したフォルダ内の［HDDFMT.exe］をダブルクリックします。
②本製品を選択後、［次へ］をクリックします。
※画面の“容量”には、製品の容量が表示されます。OS上で表示される容量とは異なります。
③［フォーマット形式］、［パーティション形式］を選択して、［次へ］をクリックし、［はい］をクリックします。（詳しくは右の表をご覧ください。）
④本製品のデータが消えてしまうことにご注意ください。
本製品を初期状態に戻すため、中のデータは全て消えてしまいます。
大切なデータは他のハードディスク等にバックアップしてください。
問題なければ、［注意事項に同意します］をチェック後、［次へ］をクリックします。
⑤［実行］をクリックします。
⇒ 本製品は初期状態に戻されます。
⑥［完了］をクリックします。
⇒ I-O DATA フォーマッタが閉じます。
⑦本製品を一度取り外します。

フォーマット形式	FAT32	大部分のOSで認識できます。 1ファイルの最大容量が4GB。 作成パーティションの最大サイズが2TB。
	NTFS	出荷時はこの形式でフォーマットされています。 セキュリティが高く、FAT32よりも高速です。 Windows Me/98/95、Mac OSでは認識できません。
	exFAT	Windows Vista SP1、Server 2008のみ対応 FAT32の最大容量、サイズを拡張したものです。 外部フラッシュメモリー等をフォーマットするときに選択します。
パーティション形式	MBR	従来の形式です。 ほとんどのOSで扱えます。 2TB以上の容量は扱えません。
	GPT	新規にできた形式です。 2TB以上のパーティションも作成できます。 ※2TB以上のハードディスクの場合に選択できます。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/